

社員にはアメを...ムチはいらない!

TV東京のカンブリア宮殿でも紹介された、岐阜県に本社を置き“ドケチ経営”で注目を浴びる“未来工業株式会社”番組を観られた方もおられると思いますが、かなり衝撃的でしたのでご紹介します。

未来工業は、全国に6つの工場を持ち、資本金70億6,786万円、売上高207億円(平成22年3月期)、従業員775名(平成22年3月20日現在)という電気設備資材、給排水設備およびガス設備資材の製造販売を行う会社です。福岡(粕屋郡志免町)にも営業所があります。創業以来一度も赤字になったことがないという超優良企業でありながら、仕事のノルマもなければタイムカードも残業もないというのです。しかも、休日数は一般企業より20日多い年間140日。日本一と言われていています。

従業員は8時30分に出社し、16時45分には退社します。1日の労働時間は7時間15分、法定の8時間よりも短いのです。全員が正社員で派遣社員やパートは一人もいない。さらに、育児休業は3年までとれ、定年も70歳まで。それなのに平均給与は地元・岐阜県内の432万円に対し、601万円と高水準で、社員にとって理想とも言える超ユニークな会社です。

社内のおちこちに社是である「常に考える」が掲げてあり、「考え抜く」ための社内制度として、改善提案をすれば、どんな内容のものでも1件につき500円が支給されるそうです。さらに、採用された提案については3000円~3万円の報奨金までもらえる仕組みになっています。

未来工業では、毎日1、2個は新製品が誕生しているらしく、「コストがかかるからダメとかではなく、どうしたら売れるか、客が便利だと思うものを『考え』ればいい。」

「大手と同じものを作っているのは負けてしまう、考え続けて差別化しろ。」

と、全社員に徹底されているのだそうです。

「社員の不満を解消するのが経営の仕事、社員のやる気をいかに起こさせるかがすべて。」

「アメとムチでなく、アメだけでいい。」と、5年に1度、全額会社負担で海外へ社員旅行に行き、日ごろから社内では、休日や余暇に充実した時間を過ごす社員も多く、社員同士のサークル活動も盛んで、公認されたクラブ活動には会社から月1万円が支給されるそうです。

「社員がやる気になる待遇があれば、社員は応えて働くはず。」

「1日は24時間、身支度や通勤を含めて仕事に12時間、睡眠に8時間、あとの4時間は残業に使うのではなく、趣味など自分のために自分のやりたいことに使う。そして、人間らしい生活を送ってもらいたい。」

さらに

「会社は自分のものだ。自ら考え、自ら良くしろ。」

と、創業者：山田昭男氏の言葉です。

45年前に劇団員4人で創めた会社の創業者は、今なお役者魂が脈々と息づいておられるようです。